

おぐま通信



広島県議会議員
尾熊良一

●おぐま良一 HPアドレス

<http://www.komei.or.jp/km/hiroshima-oguma> E-mail : oguma@polka.ocn.ne.jp

発行 | 公明党広島県議会議員団
〒730-8509 広島市中区基町10-52
連絡先 | おぐま良一事務所
〒721-0975 福山市西深津町4丁目7-5
TEL : 084-983-1862 FAX : 084-983-1863

県政に皆さまの声を届けます。
ご意見・御要望をお待ちしております。

No.7

2015.3 春号

2月定例議会で可決

平成27年度当初予算
+平成26年度2月補正予算
(経済対策分)

広島県の
予算総額

1兆111億円

重点区分別主要事業予算規模

合計565億円 (前年度比+99億円)

※2月補正分を含む

- ・災害に強いまちづくり……………373億円 (前年度比+74億円)
- ・地方創生……………191億円 (前年度比+25億円)
- ・広島県の使命 (平和発信) ……1億円 (前年度比+0.2億円)

国の平成26年度補正予算において、公明党が推進し盛り込まれた「地域消費喚起・生活支援型」交付金を活用し、広島県は25億円の下記の経済対策と生活支援を行います。

消費喚起 (20.5億円)

①プレミアム付き商品券の発行(電子マネー方式)

地域における消費喚起のために、一定割合の金額を上乗せしたプレミアム付の商品券を発行
(例:プレミアム率25%では1万円の商品券購入で1万2500円まで地域の登録商店街で買い物可能)

②ふるさと旅行助成

県内への観光客を増やし消費喚起を図るため、県内ホテルや旅館等の宿泊額の最大5割を助成(県民も利用可能)

③ふるさと産品消費拡大事業

首都圏での広島県産商品販売拡大のため、東京銀座にある広島県ブランドショップ「タウ」で買物できるプレミアム付クーポン券を発行(5000円買物クーポン券を3500円で販売)



生活支援 (4.5億円)

④多子世帯支援事業

経済的負担の大きい18歳未満の子供3人以上の多子世帯の生活支援のため、「子育てイクちゃんサービス店舗」で利用可能な「イクちゃん子育て応援クーポン券」(1万円分)を配布



平成27年度予算(2月補正を含む)に公明党県議団の要望が多く反映されました(抜粋)



平成27年度予算要望書を湯崎知事に手渡す尾熊良一議員(左から2人目)ら(H26.12.16)

■少子化対策・子育て支援

- ・認可保育所以外の保育サービス利用の助成
- ・男性含み不妊検査を夫婦で受けた場合の自己負担額の一部助成

■捨て犬猫殺処分ゼロを目指す取組

- ・定時定点回収制度の廃止と県愛護センターの譲渡業務の促進

■核兵器廃絶に向けた広島発の平和貢献施策の推進

- ・今春ニューヨークで開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議で知事の参加と平和発信を行う
- ・今年広島で開催される国連軍縮会議で核兵器廃絶と世界平和の広島思いを発信する

■防災・減災対策(災害に強いまちづくり)

- ・8.20土砂災害での緊急砂防堰堤の整備と県営緑ヶ丘住宅の補修復旧
- ・土砂災害警戒区域等の基礎調査を平成30年迄、区域指定を平成31年度完了目指し前倒し
- ・老朽化警察署【福山西署他】耐震化と老朽化交番の整備事業【野上交番など移転建替え】
- ・インフラ老朽化対策推進事業で点検・診断に関わる新技術などの試験導入
- ・急傾斜地崩壊対策事業や土石流対策での砂防事業の強化

■地方創生

- ・県内企業の「ものづくり技術」を活かす医療福祉機器の開発支援拡充と展示会など販路拡大支援
- ・観光地広島の推進【尾道松江線3月全線開通による観光誘客事業、鞆地区の生活利便性向上事業】
- ・公共交通のバス利用者増やすバス運行位置情報を表示するバスロケーションシステムの整備支援

■教育環境の整備充実と人づくり

- ・「山・海・島」体験活動“ひろしま全県展開”の3泊4日実施小学校を拡大【H26年:213学校45%実施⇒H27年:341校73%目標】
- ・県立高等学校の耐震化率100%(平成27年度末目標)
- ・特別支援学校の就職支援強化【技術検定の実施、ジョブサポートティーチャー配置】

災害に強いまちづくり、防災・減災対策に全力!

8. 20土砂災害被災地の復旧工事の進捗状況を会派県議団で調査 (2015年1月 広島市安佐南区)



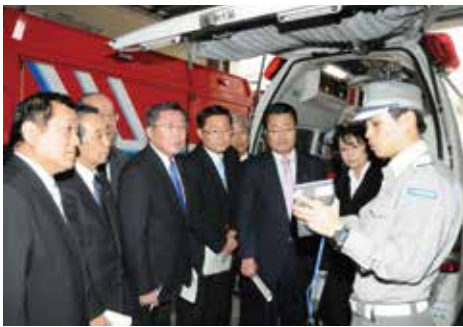
国土交通省担当者より設置済みの緊急土石流対策用強靱ワイヤネットや今後の砂防ダム建設計画など説明を受ける



県担当者より県営緑丘住宅の復旧計画について説明を受ける

県民の命を守り、 高齢者や障害者を支援

救急医療情報ネットワークシステム(救急車搬送支援システム)による導入後の運用状況や救急患者搬送時間短縮状況を調査 (2015年1月 広島市消防局)



発達障害者の自立・就労支援を障害者総合支援法で強化(2013年4月施行)

福山市の発達障害者家族の会代表者から公明党山本ひろし参議院議員が直接、成人発達障害者の自立・就労支援要望の声を聞き、同議員の国会への働きかけで全国に発達障害者支援センター整備の他、障害者総合支援法の中で発達障害者の自立・就労に向けた支援が強化されました。



成人発達障害者保護者の会「のぼらの会」の代表と意見交換(2011年12月)

少年の健全な育成と 女性の子育て・就労支援

少年サポートセンター福山(2013年9月開設)の相談状況を調査 (2015年1月)

少年の非行防止、立ち直り支援、課題を抱える学校への支援など、少年の健全な育成を図ることを目的にエピコRiM地下2階に県警と福山市教育委員会で気軽に相談できる少年サポートセンターが開設されました。



「わーくわくママサポートコーナーふくやま」エストパルク1階に開設(2015年1月28日)



女性の就職サポート内容を調査

・常駐の女性相談員がマンツーマンで不安を解消・子育て支援情報、保育所情報、就職に役立つ情報提供・日当付きでお仕事体験できる職場体験プログラム・お子様連れでも安心!(保育士にキッズコーナーで相談中、見てもらえます)

瀬戸内海水産資源を守り、 漁業者の担い手づくり

走島周辺など瀬戸内海の漁獲量減少の対策強化を県に訴え実現

走島漁協代表者から、いわし不漁対策で塚本市議と要望聴取。広島大学水産学部教授や県水産海洋技術センターと瀬戸内海区水産研究所の研究者より瀬戸内海漁獲量減少の要因について種々説明を受け、県議会決算特別委員会や農林水産委員会で質問や政策提案を行った結果、平成27年度水産資源増大のため、国(環境省)や県で瀬戸内海の環境調査予算を強化、「漁業生産増大と担い手確保の対策」で、国の補助制度予算化が実現しました。



走島漁協代表者から要望聴取(2014年7月)



広島大学水産学部教授と意見交換(2014年8月)